

令和元年 7 月 3 日

関係機関 各位

みやぎ精神科デイケア研究会

第 2 5 回 みやぎ精神科デイケア研究会のお知らせ

貴職には、時下ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、第 2 5 回みやぎ精神科デイケア研究会を下記の内容で開催することになりました。みやぎ精神科デイケア研究会は平成 9 年 6 月に第 1 回目が開催されて以来、宮城県内の精神科デイケア機関の交流と研鑽を目的に講演会、シンポジウム、分科会、懇親会など実施して参りました。現在は主に宮城県内精神科デイケア実施八機関の担当者が世話人として企画・運営を担っております。近年は東北各県にもご案内し、交流と研鑽の輪を広げております。

今回は教育講演に前田ケイ先生をお招きします。『ソーシャル・スキルズ・トレーニング（SST）を使いこなそう』と題してご講演いただき、体験グループを行います。現場で役立つ実践的な技法についてご紹介いただく予定です。午後は事例検討を行います。発達障害への更なる関わりが求められておりますが、はあとぽーと仙台より事例を提供いただき、小グループごとに検討致します。最後にまとめとして原先生に座長をお願いし、シェアリングを行います。他機関の担当者との交流や日常の取り組みの振り返りとしては是非ご参加ください。

記

日時： 令和元年 8 月 2 4 日（土） 9：45～17：15
場所： 仙台市医師会館 仙台市若林区舟丁 6 4－1 2（地下鉄河原町駅北出口徒歩 3 分）
内容： 9:45～10:00 受付
10:00～10:15 開会式
10:15～12:15 教育講演
『ソーシャル・スキルズ・トレーニング（SST）を使いこなそう』
ルーテル学院大学名誉教授 SST 普及協会認定講師 前田 ケイ 先生
12:15～13:15 お昼休み
13:15～13:35 事例紹介 『関わりが取りにくい発達障害の事例』
提供：はあとぽーと仙台
13:45～15:15 事例検討
15:30～17:00 シェアリング 座長：原クリニック院長 日本デイケア学会理事長
原 敬造 先生
17:00～17:15 閉会式

参加費：2,000 円（一部のみの参加、お弁当無しの場合でも一律 2,000 円です）

※お弁当を準備しております。お飲み物をご持参ください。

※駐車場の準備はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。

※デイケアの案内やプログラムを自由に交換出来るスペースを準備しますのでご活用ください。

※研究会終了後、懇親会を予定しております。仙台駅周辺で 19 時～21 時、会費 4,000 円予定。後日、参加される方に詳細をご案内します。

※問い合わせ、申し込みはメール dcmiyagi@hotmail.co.jp にてお願いします。準備のため申し込みは **7 月 3 1 日（水）** までお願いします。

事務局：宍戸（国見台病院） 阿部（原クリニック）

みやぎ精神科デイケア研究会のために

ソーシャル・スキルズ・トレーニング（SST）を使いこなそう

SST普及協会 SST認定講師 前田ケイ

SSTは精神科疾患を持つ患者さんの治療とリハビリテーションに効果的な方法の一つとして知られています。基礎となっている理論は認知行動療法です。治療の構造は個人・家族・グループなど、さまざまで、利用者のニーズに従って、それらを選択し、或いは組み合わせて実施します。

1980年代の後半に、福岡大学附属病院のデイケア、続いて、東大附属病院のデイホスピタル（DH）でSSTが実施されました。いずれの関係者もUCLAのリバーマン教授からSSTを直接教えられました。SSTを実施してみて、利用者のコミュニケーション能力や地域生活の向上等により結果がみられました。SSTは1994年に入院患者の精神科専門治療法として点数化され、1995年にはSST普及協会が結成され、全国に広がりました。

初めの頃は統合失調症の患者さんが多く対象となっていたSSTですが、いまでは、さまざまな精神科疾患の人びとやご家族が参加して、効果が認められています。また、医療ばかりではなく、学校の普通教育や特別支援教育、労働、福祉、矯正教育や更生保護事業の諸分野で、広く実践されるようになってきました。広く地域に開かれた「誰でも参加できるSST」が全国で約10ヶ所、実施されています。

はじめに、参加者の有志による「SSTのセッション」の様子を見て頂きます。それから、あらためて、SSTの展開過程とその段階別に使う技法等を解説したいと思います。利用者のグループSSTばかりでなく、利用者のご家族のSSTの例も紹介しましょう。

ご希望があれば、参加者全員で、個人SSTの練習もしてみましよう。

また、もし、参加者のなかで、日頃のご自分のSSTを再現し、講師からの助言を求めたいという方がおられましたら、喜んでお手伝いします。

質疑応答や意見交換にも十分な時間をとり、明日から役に立つ教材や技法等のアイデアを持ち帰って頂ければ、と願っています。